

平成 20 年 6 月 5 日

国見町長 佐藤 力様

第 4 次国見町行財政改革実施計画（前期）に関する所見

国見町行財政改革推進委員会

標記計画に係る「平成 19 年度推進状況報告書」ならびに「平成 20 年度実行計画書」を検討した結果を、以下、所見として申し述べます。

1．平成 19 年度における計画の実施状況を見るに、前年度に比してかなりの進捗を示していること、また、行財政改革推進本部会議を短いサイクルで開催してきたことについても、町長および職員の努力を評価する。

2．平成 19 年度の自己評価ランク（A～D）が、前年度から下がっている項目がいくつかある。これは計画を再検討した結果、実施をとりやめたり、見直しをしたりといったケースを含んでいると思われる。実施の過程で計画の見直しをすることは当然ありうるのであるから、本委員会に対しても、そこははっきりと提起・説明した上で意見を求めるべきではないかと考える。

3．人件費の削減に向けた努力は認められるが、厳しい財政状況にかんがみて、さらなる努力が必要である。県内トップクラスの給与水準ということでは、住民に新たな負担を求めるとしても理解を得にくいであろう。

4．人事評価や予算編成手法の見直しに踏み込むことのむずかしさは想像に難くないが、まったく未着手ということでは心もとない。20 年度計画における「調査・研究」を確実に実施して、初めの一步を踏み出してほしい。

5．藤田総合病院に対する負担金の負担割合が国見町において著しく重く、実際の患者数の割合からかけ離れている問題は、早急に改善されるべきである。いっそうの努力を関係者に求めたい。

6．支出の削減ばかりでなく、収入の拡大を図る必要がある。さまざまな人口増加策を講じるなど、対策の立案が求められる。

以上